

## 自立支援協議会（部会）委員意見

	意見	回答
(1)	前回の調査で精神の回答率が41%と低かったため、実際に調査票を見て意見を述べたい。 また、ほかの委員にも配布したらどうか。	中央区自立支援協議会委員及び部会委員に配布し、ご意見等をいただきます。
(2)	知的と精神の調査は前回と同じ比率に対して身体・難病の配布人数が前回に比べて低い理由を知りたい。	手帳所持者が増加傾向にあることを踏まえ、今回から世論調査でも活用されている「サンプル調査」により実態把握をすることといたしました。調査対象の母数が少ないまたは回収率が低い場合は、有効なサンプル数を回収するため、より母数に近い数字を配布する必要性があり、比率に差が生じます。（身体・難病は母数が多く回収率が高いため、配布数が前回より少ない）
(3)	子どもの調査の対象者の考え方を知りたい。	平成28年度の実態調査では18歳以下の子をもつすべての保護者を対象としておりましたが、今回の調査では実際に育ちや発達について何らかの支援を受けている方を対象として、具体的な発達支援に対するニーズや実態の把握などを行います。
(4)	「災害時地域たすけあい名簿」の名簿情報の提供状況について、条件を満たしている人とそうでない人が混同している。 誰を対象とした項目なのか。	本調査は、「災害時地域たすけあい名簿」の対象者で、避難支援など関係者への情報提供に同意されていない方を対象とした設問項目としています。
(5)	回収率を上げる方法としてどのようなことを行うのか。	区報および区ホームページ等による回答の協力の呼びかけや督促礼状の送付のほか、質問数を減らし回答しやすい内容への変更や記入しやすい調査票へのレイアウト等の工夫を行います。